

# 大豆情報

(第1号)

平成29年4月22日  
あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会

～「売れる大豆づくり」を基本に、高品質で安全安心なあおば大豆を生産しよう。～

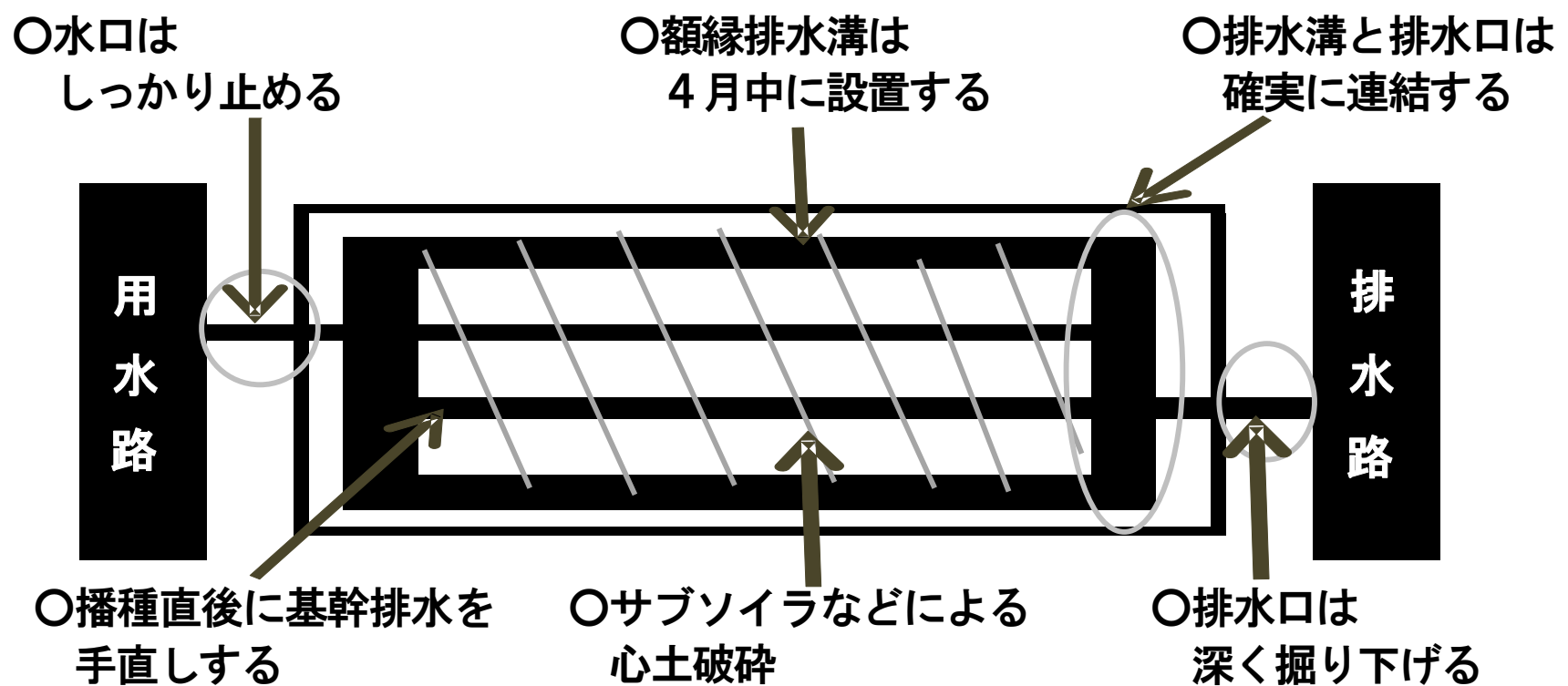
1. 実需者ニーズに対応した高品質大豆の安定生産 ⇒ 10a 当たり収量 200kg 以上  
⇒ 大粒比率の向上
2. 効率的な生産体制の整備 ⇒ 水田の有効活用による作付面積拡大
3. 「安全・安心」な大豆生産 ⇒ 「とやまGAP」の実施及び生産履歴記帳 100%

## 《播種前の重点対策》

- ・ 4 月中に額縁及び基幹排水溝を確実に設置し、圃場を乾かす。
- ・ 透水性の悪い圃場では、圃場が乾いた状態で心土破碎を実施する。
- ・ 大豆は酸性土壌を嫌うので、苦土石灰を必ず散布する。

○ 丁寧な「耕起・碎土・整地」により「出芽・苗立、除草剤の効き」を改善！

## 1. 排水対策



## 2. 土づくり

～ 有機物の施用と土壌 pH の矯正 ～

- 地力増進のため、堆肥や発酵鶏糞等を施用する。
- pH6.0～6.5 になるように苦土石灰（粒）を、100kg～200kg/10a 必ず散布する。
- 赤土客土田ではリン酸が足りないため、「粒状ようりん」を施用する。

＜10a 当たり施用基準＞

	資材・肥料名	10a 当たり施用量	
		一般田	赤土客土田
土壌改良資材	苦土石灰(粒)	100～200kg	
	粒状ようりん	—	20～40kg
堆肥	牛ふん堆肥、豚ふん堆肥、籾殻堆肥	1～2t	
	発酵鶏糞	100～200kg	

春の農作業安全運動実施中。(5/31 まで) 農作業は安全を最優先！！

## ◀ 播種前後の重点対策 ▶

- 必ず「クルーザーMAXX」により種子消毒する。
- 耕起、施肥、播種、除草の一連の作業は1日で終わる。
- 湿害を防ぐため、額縁排水の手直し、排水口への連結を行う。

## 3. 病害虫防除 「クルーザーMAXX」による種子消毒で初期病害虫をシャットアウト！

薬剤名	処理法	対象病害虫等
クルーザーMAXX	乾燥種子 1kg 当たり 原液 8ml 塗抹	アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、フタスジヒメハムシ 茎疫病、リゾクトニア根腐病、苗立枯病、紫斑病

※クルーザーMAXX 塗抹時にタルクを使用（種子1kg 当たり 8g）することで、播種精度が向上します。  
（使用方法等はJA にお問い合わせください。）

## 4. 播種の準備と目安 ～ 栽植本数をしっかり確保し、収量アップにつなげましょう～

- ① 品種や播種時期に応じて、適正な播種量になるよう播種機の目皿やスプロケットを調整する。
- ② 播種作業の速度が早いと欠株がでやすいので、ゆっくり歩く程度の早さ（0.5m/秒）で行い、播種深度3cmを確認する。

＜播種時期別の大豆播種量＞ （1株2粒播きの場合）

品種	播種時期	条間 (cm)	栽植本数 (本/10a)	播種粒数 (粒/m)	播種量 (kg/10a)
エンレイ	5月25日頃～6月上旬	80	14,000～16,000	12～14	5.1～5.9
	6月中旬		16,000～18,000	14～17	5.9～6.6
シュウレイ	5月25日頃～6月上旬	80	12,000～15,000	11～13	4.9～6.1
	6月中旬		15,000～18,000	13～17	6.1～7.3
オオツル	6月上旬	80	10,000～12,000	9～11	4.6～5.5
	6月中旬		12,000～14,000	11～12	5.5～6.4

## ＜基肥＞ (10a 当たり)

資材名	施肥方法	一般田	復元田	麦跡
BB084 ※	側条施肥	20kg	30kg	40kg
	全層施肥	24kg	36kg	48kg

※ カリ成分の多い  
基肥資材に変更  
しました。

## ＜除草剤＞

除草剤名	適用雑草	使用時期	使用方法	10a 当たり散布量
トレファノサイド 粒剤 2.5	一年生雑草 (ツクサ、加ツクサ、科、アザ科は除く)	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面 土壌散布	4～6kg
ラクサー粒剤	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面 土壌散布	4～6kg
ラクサー乳剤	一年生雑草 (ツクサを除く)	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面 土壌散布	100ℓ (400～600ml を水 100ℓ に希釈)

## 5. 播種後の管理 ～ 生育量を確保するために排水対策を徹底しましょう ～

出芽期に湿害にあうと生育量、収量の低減に大きく影響するので、播種後は排水溝の点検、手直しと排水口への連結を確実にし、初期の排水対策に努める！！

作業後は、生産履歴簿に作業内容をすぐに記入しましょう。